



東京都中央区、初の女子サッカークラブ

チーム名

アルメール

[目次]

- アルメールの語意
- ユニフォーム
- メンバー構成
- スタッフ
- 成り立ちと活動
- 目指すところ
- NPO属性
- 活動拠点
- パートナー



アルメールの語意

- イタリア語で～輝く、光～、を意味します。
住まう身近な場で、サッカー・フィールド（場）を
楽しみ、自らの情熱を体感し、光り輝く存在でありつ
づけることをサッカー仲間一人ひとりに込めています。



ユニフォーム





メンバー構成

●アルメール

中学生			小学生						合計
3年	2年	1年	6年	5年	4年	3年	2年	1年	
1	5	2	1	5	3	2	1	0	20
8			12						

●アルメールU-6 (キッズクラブ男女)

年長	年中	合計
7	6	13



スタッフ



コーチング スタッフ	公認指導者		認定審判		備 考
	C	D	3級	4級	
H. OKAYA(61)	●	—	—	●	チーフコーチ、元川崎フロンターレ 強化育成部長
H. NAGAI(62)	—	●	●	—	東京都サッカー協会委嘱Jリーグ公式記録員
M. EMURA(56)	—	●	●	—	東京都中央区サッカー協会理事
M. SHIMIZU(65)	—	●	●	—	
K. INAGE(53)	—	●	●	—	東京都中央区サッカー協会理事
T. SUGITA(52)	—	●	●	—	
K. TSUJI(22)	—	—	—	●	
Y. ORIHARA(22)	—	—	—	●	

・救命技能検定受講済み



成り立ちと活動

2009年7月（動機）	NPO主催少年少女サッカークリニック終了後のコーチ懇談会において、女子4年生の保護者から、「近頃男子と一緒にやることを敬遠するようになった。女子だけでやれる場がないか。」の発言がきっかけとなりました。
2010年7月（設立）	女子チーム「アルメール」設立。公式エンブレム、ロゴ作成。
（活動）	中央区立佃島小校庭を拠点に練習開始。月3回の練習。 新宿区、葛飾区及び近接の中村学園中等部と交流試合を行う。
2014年6月（ひろば）	日本サッカー協会認定「なでしこひろば」開催。 ～はじめよう！たのしもう！つづけよう！～
2014年10月（情報発信）	CATVベイ・ネットワーク取材放映。 地元ミニコミ誌「天空新聞」取材掲載。 中央区ホームページ“活動紹介サイト”掲載。

目指すところ

第一義の指導ポイント;
「する」**楽しみ**を動機付け

▶住まう地域で、スポーツ（サッカー）を「する」「観る」楽しみの場を提供すること。

▶「する」「観る」の“ファン”を増やすこと。

▶ファンの延長線上に競技力ある選手を育てること。

▶地域コミュニティを豊かにする、スポーツ文化の醸成に寄与すること。

住まう地域

育成選手創出

スポーツを「する人」

スポーツを「観る人」

←-- スポーツ文化の醸成 -->



NPO属性

- アルメールはNPOリバーシティ21の活動趣旨にのっとり運営しています。

私たちは、

“スポーツで地域をつなぐNPOです。”

- 少年少女サッカー教室、レクリエーションスポーツ、救急救命講習会、栄養セミナーなど、各種イベントを開催しています。
- 中央区社会貢献活動「協働ステーション中央」の登録団体です。
- NPOの詳細はリーフレットをご覧ください。

活動拠点



練習場所: 東京都中央区立佃島小学校校庭
中央区佃2-3-1
交通: 東京メトロ有楽町線月島駅下車徒歩5分
都バス 東京駅八重洲口 東16系統
深川車庫前・東京ビッグサイト行き
リバーシティ21バス停下車徒歩0分
(八重洲口からの所要10~15分)

中学校校庭は原則使用不可。
練習日当日空きの場合可。



活動拠点のパートナー

- 地区活動団体と連携を推進しています。
- 佃フットボールクラブ（佃F C）は、アルメール及び当NPOを応援しています。
- アルメールのスタッフが、佃F Cの練習コーチや大会審判のサポートを行います。

※佃F C／小学1年生～6年生の男子サッカークラブ、100名超のクラブ員を有する。



アルメールは中央区、初の女子サッカークラブです。

選手一人ひとりの笑顔が、とても素敵なクラブです。

はじめよう！ たのしもう！